



5/27 浦添タイガース優勝報告と全国大会へ

第154回沖縄県学童軟式野球大会高円宮賜杯第46回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント沖縄県予選大会で見事32チームの頂点に立った浦添タイガースが優勝報告のため市長を表敬訪問しました。

キャプテンの宮城佑生さん(浦城小6年)は、準決勝・決勝戦での白熱した試合展開について振り返り、「全国大会ではチーム一丸となって全国制覇したい」と意気込みを話しました。松本市長は「今度は沖縄県の代表として全力でプレーしてください」と激励の言葉を贈りました。チームは8月に愛媛県で開催される「小学生の甲子園」とも呼ばれる全国大会に出場します。



5/28 浦添市×ドコモ包括連携協定報告会

浦添市と株式会社NTTドコモの包括連携協定に係る報告会が、市役所9階で行われました。本市はデジタル技術を活用した「スマートシティ」の実現に向けて、2023年に(株)NTTドコモと包括連携協定を結んでおり、これまでの取り組みの振り返りと今後の方向性について報告しました。観光産業や子育て支援など幅広い課題や施策について各課担当者からの発表の他、9皆口ビーでは展示会も行われ100人程の参加がありました。

(株)NTTドコモ代表取締役副社長の佐藤隆明氏(2026年5月28日当時)は「非常に興味深いプレゼン内容だった。引き続き技術を高めながら人々の幸せにつながる取り組みをしていきたい」と話しました。



5/23 中央公民館移転後初の講座スタート!

4月にあかひらステーションビルに移転した「中央公民館」の移転後初となる中央公民館講座が開催されました。今回の「交通事故に遭った時に知っておきたい損害賠償の基礎知識を学ぶ」講座に集まった18人の受講者は、「いざという時のために法律の基本を知っておきたい」、「子どもが免許を取る時期なので親としての確かなアドバイスができるようになりたい」など高い関心を持って臨みました。

講座終了後には、「具体的な話を聞くことができて参考になった」や「講座の内容がわかりやすくよく理解できた」などといった感想をいただき、充実した学びの機会となりました。



5/26 学卒者の就活支援に協力を呼びかけ

市内新規学卒者の就職活動支援のため那覇公共職業安定所の山城所長と松本市長が、浦添商工会議所の仲宗根副会頭を訪ね、学卒求人確保と求人票の早期提出を企業に呼びかけるよう要請しました。

山城所長は「県内の雇用情勢については、求人数が求職者数を上回る状況である。学卒求人確保と求人票の早期提出を進めることで、人材を確保し計画的に育成していく環境を作ることが重要だ」と話しました。その後の意見交換で、仲宗根副会頭は「早めの求人募集だと応募者も多く、インターンシップなどの期間も設けられるため求人票の早期提出を進め、取り組んでいきたい」と応じました。



5/29 想いを込めた“ちよんだ通り”命名式

チョンダ公園に新しく設置された遊具とリニューアル祝いに合わせて、公園周辺の通りを『ちよんだ通り』と名付けた命名式が行われました。名前の由来には、チョンダ原地域への愛着を育み、子どもたちが地域を大切にすることを願うようにとの願いが込められています。

わくわく学童、宮城学童、宮城っ子児童センターの子どもたちが作成した横断幕の前でテープカットが行われたあと、子どもたちによるエイサーやダンスが披露され、周辺地域の人も集まり大いに賑わいを見せました。司会進行を努めた砂川花音さん(宮城小6年)は「会場を盛り上げるためにセリフを考えたり、たくさん練習してきたから本番で成功できて嬉しかった」と話してくれました。



5/17 「クリーンデーINうらそえ」で一斉清掃

美化意識の向上と住みよいまちづくりを目指すため、市内自治会を中心に「クリーンデーINうらそえ」が行われました。

主催者である浦添市民憲章推進協議会では、市民憲章にある「わたくしたちは、自然を愛し、みどり豊かなまちをつくりたい」を実践するため、毎年5月の第3日曜日を活動の日と定めて一斉清掃を実施しています。

活動に参加した児童は「友達と一緒にまちをきれいにすることができて楽しかった」と話し、友人や地域の大人たちと協力しながら清掃活動に取り組みました。世代を超えた交流も見られ、地域全体でまちをきれいにする良い機会となりました。

話題がいっぱい
なかゆくい
"Let's take a short break"

市内各地で行われたイベントや、まちの話題をお届けします。ここで「なかゆくい」しませんか。

「なかゆくい」の魅力を紹介します。

市ホームページ「うらそえトピックス」にも市内のできごとを紹介しています。



5/12 一人で抱え込まずにお話しませんか?

「民生委員・児童委員の日」である5月12日に、市役所市民広場で活動強化週間の出発式が行われ、50人余りの民生委員および関係者が参加しました。

民生委員・児童委員は地域住民の立場に立ち、生活する上での相談や高齢者・子どもの見守りなどを行い、困りごとを抱える市民と行政や関係機関をつなぐ役割を担っています。出発式では、浦添市民児協会長の新垣和歌子さんが「私たちが必要としている人に寄り添いながら頑張っていきましょう」と激励の言葉を述べました。

その後、伊祖・大平地域に住んでいる安次富純子さん(83歳)と比嘉嘉和子さん(91歳)の自宅を訪問し、ご家族やご友人たちも交えて交流を深めました。